【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年9月13日(2007.9.13)

【公開番号】特開2005-206573(P2005-206573A)
【公開日】平成17年8月4日(2005.8.4)
【年通号数】公開・登録公報2005-030
【出願番号】特願2004-229083(P2004-229083)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　69/28　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/30　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/00　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　19/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/16　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　69/003　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　69/28
Ａ６１Ｋ　7/00　Ｃ
Ａ６１Ｋ　7/48
Ａ６１Ｋ　47/14
Ａ６１Ｐ　17/16
Ｃ０７Ｃ　69/003　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月26日(2007.7.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
炭素数６～９の飽和分岐二価アルコールとネオペンタン酸とのジエステル。
【請求項２】
炭素数６～９の飽和分岐二価アルコールが、３－メチル－１，５－ペンタンジオール、２，４－ジエチル－１，５－ペンタンジオール、２－ブチル－２－エチル－１，３－プロパンジオール、２，２－ジエチル－１，３－プロパンジオール、２－メチル－２－プロピル－１，３－プロパンジオール、２－エチル－２－ｓｅｃ－ブチル－１，３－プロパンジオール、２，２，４－トリメチル－１，３－ペンタンジオール、２，４－ジメチル－１，５－ペンタンジオール、３，３－ジメチル－１，５－ペンタンジオールから選ばれる１種又は２種以上である請求項１に記載のジエステル。
【請求項３】
炭素数６～９の飽和分岐二価アルコールが、３－メチル－１，５－ペンタンジオール、２，４－ジエチル－１，５－ペンタンジオール、又は２－ブチル－２－エチル－１，３－プロパンジオールから選ばれる１種又は２種以上である請求項１に記載のジエステル。
【請求項４】
請求項１～３の何れかに記載のジエステルからなる油剤。
【請求項５】
請求項１～３の何れかに記載のジエステルからなる化粧料用又は皮膚外用剤用油剤。

【請求項６】
油剤中における、遊離のネオペンタン酸の含有量が０．０１重量％以下である請求項４又は５に記載の油剤。
【請求項７】
炭素数６～９の飽和分岐二価アルコールとネオペンタン酸を無溶媒で１４０～２６０℃の温度でエステル化反応させることを特徴とする請求項１～３の何れかに記載のジエステル、若しくは請求項４～６の何れかに記載の油剤の製造方法。
【請求項８】
炭素数６～９の飽和分岐二価アルコールとネオペンタン酸を無溶媒で１４０～２６０℃の温度でエステル化反応させた後、アルカリ性水溶液で洗浄することを特徴とする請求項１～３の何れかに記載のジエステル、若しくは請求項４～６の何れかに記載の油剤の製造方法。
【請求項９】
請求項１～３の何れかに記載のジエステル若しくは請求項４～６の何れかに記載の油剤を含有する化粧料又は皮膚外用剤。